

読み芝居

「スカートをはいてはるがえして」 五大 路子

日時：5月29日（火）18時～

※受付17時～整理券配布（先着80名様）

会場：Kosha33スタジオ
（神奈川県住宅供給公社1階）

●あらすじ

5月29日、横浜大空襲。あの日のこと。73年前の記憶を、老女はゆっくりと語り始める…。

「セーラー服のスカートをはいて満開の桜の下を歩きたい…」
モンペ姿で勤労奉仕に通っていた千代の口癖だ。昭和二十年三月。高等女学校の卒業式の十日前、焼夷弾の炎に焼かれて千代は死んだ。二年生だった。千代を妹のように思う四年生の史子は亡き千代の心をおもい、セーラー服姿で卒業式に臨む。鳴り響く空襲警報。女学校から防空壕へ続く満開の桜並木。スカートをひるがえし、史子は花びら舞う坂道を走ってゆく。



出演

五大 路子

松井 工

伊藤 はるか

作

あべ ゆかり

ピアノ

阿部 明日見

脚色・演出

松井 工

主催：横浜夢座／協力：神奈川県住宅供給公社

1945年5月29日、アメリカ軍によって横浜中心地域に対して大規模な空襲がありました。焼夷弾による攻撃で約8千から1万人の死者を出したと言われています。この「横浜大空襲」を経験された方々の実話を元に、新作の読み芝居が生まれました。当公演は、私達の街で実際に起きた、忘れてはならない歴史を後世に語りつぎ、この作品を通じて、多くの方々に戦争・平和に関し、深く考える契機となる事を目的に実施します。4月に開設された「Kosha33」の、日本大通りに面し“多くの方々が集まる場所”というロケーションを活用し、横浜夢座のビジョンである、「誰もが気軽に演劇に触れられる街づくり」に向けた取り組みの一環としても展開します。

五大 路子

横浜夢座とは、

座長 五大路子を中心に「横浜から演劇を発信しよう！」と1999年に発足。

横浜夢座はプロの演劇人と市民や企業、行政とが連携して生まれた「横浜スタイル」といってもよい新しい私たちの演劇集団です。

具体的には、「五大路子を中心に構成された横浜夢座実行委員会」を中心に企画制作を行い、横浜夢座倶楽部（企業）、行政、学生や主婦など様々な市民ボランティアの応援を得てプロの俳優に出演依頼し、毎回の公演がなりたっています。回を重ねるごとに観客も増え、全国からも注目されるようになりました。

今年は旗揚げより18年目を迎え、神奈川から世界へ、演劇発信の夢を紡ぎ続けています。

【お問合せ】

横浜夢座事務局 担当：田川、西

〒220-6218 横浜市西区みなとみらい2-3-5クイーンズタワーC 18階

株式会社オフサイド内

TEL: 045-661-0623 FAX: 045-661-0604

<https://www.yumeza.com/>

会場案内図

